

令和4年度 会計報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

1. 財務諸表

1-1. 貸借対照表総括表

令和4年度 貸借対照表総括表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,422,758	6,543,638	△ 3,120,880
その他流動資産	0	0	0
流動資産合計	3,422,758	6,543,638	△ 3,120,880
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	56,430,464	56,430,464	0
建物	135,601,837	33,648,684	101,953,153
建設仮勘定	0	38,886,750	△ 38,886,750
基本財産合計	192,032,301	128,965,898	63,066,403
(2)特定資産			
館山寮再建等引当資産	2,514,300	66,611,153	△ 64,096,853
特定資産合計	2,514,300	66,611,153	△ 64,096,853
固定資産合計	194,546,601	195,577,051	△ 1,030,450
資産合計	197,969,359	202,120,689	△ 4,151,330
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	3,705,000	3,630,000	75,000
未払金	2,281,361	2,374,179	△ 92,818
流動負債合計	5,986,361	6,004,179	△ 17,818
負債合計	5,986,361	6,004,179	△ 17,818
III 正味財産			
1. 一般正味財産	189,468,698	161,692,427	27,776,271
(うち基本財産への充当額)	(192,032,301)	(128,965,898)	(63,066,403)
(うち特定資産への充当額)	0	(32,187,070)	(△ 32,187,070)
2. 指定正味財産	2,514,300	34,424,083	△ 31,909,783
(うち特定資産への充当額)	(2,514,300)	(34,424,083)	(△ 31,909,783)
正味財産合計	191,982,998	196,116,510	△ 4,133,512
負債および正味財産合計	197,969,359	202,120,689	△ 4,151,330

1-2. 貸借対照表内訳表

令和4年度 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科目	実施事業(継続事業)	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,422,758	0	3,422,758
その他流動資産	0	0	0
流動資産合計	3,422,758	0	3,422,758
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	56,430,464	0	56,430,464
建物	135,601,837	0	135,601,837
建設仮勘定	0	0	0
基本財産合計	192,032,301	0	192,032,301
(2)特定資産			
館山寮再建等引当資産	2,514,300	0	2,514,300
特定資産合計	2,514,300	0	2,514,300
固定資産合計	194,546,601	0	194,546,601
資産合計	197,969,359	0	197,969,359
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	3,705,000	0	3,705,000
未払金	2,281,361	0	2,281,361
流動負債合計	5,986,361	0	5,986,361
負債合計	5,986,361	0	5,986,361
III 正味財産			
1. 一般正味財産	194,903,702	△ 5,435,004	189,468,698
(うち基本財産への充当額)	(192,032,301)	(0)	(192,032,301)
(うち特定財産への充当額)	24,877,783	(0)	24,877,783
2. 指定正味財産	27,392,083	0	27,392,083
(うち特定財産への充当額)	(27,392,083)	(0)	(27,392,083)
正味財産合計	195,857,202	△ 5,435,004	190,422,198
負債および正味財産合計	201,843,563	△ 5,435,004	196,408,559

1-3. 財務諸表に関する注記

令和4年度 財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法
- (2) 消費税等の会計処理
税込処理によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	56,430,464	0	0	56,430,464
建物等	33,648,684	101,953,153	0	135,601,837
建設仮勘定	38,886,750	0	38,886,750	0
小計	128,965,898	101,953,153	38,886,750	192,032,301
特定資産				
館山寮再建等引当資産	66,611,153	0	64,096,853	2,514,300
小計	66,611,153	0	64,096,853	2,514,300
合計	195,577,051	101,953,153	102,983,603	194,546,601

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
土地	56,430,464	0	(56,430,464)	
建物等	135,601,837	0	(135,601,837)	
建設仮勘定	0	0	0	
小計	192,032,301	0	(192,032,301)	
特定資産				
館山寮再建等引当資産	2,514,300	(2,514,300)	0	
合計	194,546,601	(2,514,300)	(192,032,301)	

4. 固定資産の取得価格、減価償却費、及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価格、減価償却費、及び当期末残高は、次の通りである

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物等			
館山寮本体	96,790,565	4,270,172	92,520,393
館山寮本体改修	10,654,000	1,894,043	8,759,957
館山寮女子棟	8,500,000	6,799,992	1,700,008
館山寮付属設備	3,409,560	1,912,548	1,497,012
館山寮厨房等	24,596,600	12,126,315	12,470,285
館山寮船倉等	2,475,940	949,107	1,526,833
館山寮受水槽	4,320,000	768,000	3,552,000
館山寮浄化槽	13,545,345	677,267	12,868,078
館山寮その他	952,900	245,629	707,271
合計	165,244,910	29,643,073	135,601,837

1-4. 正味財産増減計算書総括表

令和4年度 正味財産増減計算書総括表

自: 令和4年4月 1日

至: 令和5年3月31日

(単位: 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
(基本財産運用益)	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
(受取会費)	3,645,000	3,735,000	△ 90,000
賛助会員受取会費	3,645,000	3,735,000	△ 90,000
(事業収益)	3,989,200	50,000	3,939,200
館山寮運営事業収益	3,989,200	0	3,989,200
寄付金収益	0	50,000	△ 50,000
(雑収益)	95	13,629	△ 13,534
受取利息	95	129	△ 34
雑収益	0	13,500	△ 13,500
経常収益合計	7,634,295	3,798,629	3,835,666
(2) 経常費用			
(事業費)	17,148,616	5,638,132	11,510,484
給料手当	500,000	500,000	0
旅費交通費	120,780	40,460	80,320
通信運搬費	69,725	1,200	68,525
減価償却費	8,817,257	3,788,349	5,028,908
消耗什器備品費	995,368	0	995,368
消耗品費	437,651	88,378	349,273
修繕費	971,564	0	971,564
燃料費	70,191	36,183	34,008
光熱水料費	903,513	560,432	343,081
賃借料	704,550	0	704,550
保険料	501,244	325,730	175,514
支払負担金	60,000	62,000	△ 2,000
支払助成金	229,800	50,000	179,800
委託費	2,611,573	185,400	2,426,173
支払手数料	155,400	0	155,400
(管理費)	699,991	494,326	205,665
事務委託費	360,000	360,000	0
会議費	26,000	0	26,000
通信運搬費	17,967	19,435	△ 1,468
消耗品費	0	660	△ 660
租税公課	244,945	71,717	173,228
雑支出	51,079	42,514	8,565
経常費用合計	17,848,607	6,132,458	11,716,149
当期経常増減額	△ 10,214,312	△ 2,333,829	△ 7,880,483

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
保険金収入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
災害損失	0	233,176	△ 233,176
経常外費用計	0	233,176	△ 233,176
当期経常外増減額	0	△ 233,176	233,176
当期一般正味財産増減額	△ 10,214,312	△ 2,567,005	△ 7,647,307
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
指定正味財産から振替	38,060,583	0	38,060,583
一般正味財産増減額	27,776,271	△ 2,637,005	30,413,276
一般正味財産期首残高	161,692,427	164,329,432	△ 2,637,005
一般正味財産期末残高	189,468,698	161,692,427	27,776,271
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	6,150,800	7,032,000	△ 881,200
一般正味財産へ振替	△ 38,060,583	0	△ 38,060,583
当期指定正味財産増減額	△ 31,909,783	7,032,000	△ 38,941,783
指定正味財産期首残高	34,424,083	27,392,083	7,032,000
指定正味財産期末残高	2,514,300	34,424,083	△ 31,909,783
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	191,982,998	196,116,510	△ 4,133,512

1-5. 正味財産増減計算書内訳表

令和4年度 正味財産増減計算書内訳表

自: 令和4年4月 1日

至: 令和5年3月31日

(単位: 円)

科目	実施事業(継続事業)			実施事業 (継続事業) 合計	法人会計 (共通)	合計
	継続: 1 教育活動	継続: 2 館山寮運営	継続: 3 水上寮保管			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
(基本財産運用益)	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0
(受取会費)	0	3,645,000	0	3,645,000	0	3,645,000
賛助会員受取会費	0	3,645,000	0	3,645,000	0	3,645,000
(事業収益)	0	3,989,200	0	3,989,200	0	3,989,200
館山寮運営事業収益	0	3,989,200	0	3,989,200	0	3,989,200
寄付金収益	0	0	0	0	0	0
(雑収益)	0	95	0	95	0	95
受取利息	0	95	0	95	0	95
雑収益	0	0	0	0	0	0
経常収益合計	0	7,634,295	0	7,634,295	0	7,634,295
(2) 経常費用						
(事業費)	50,000	17,098,616	0	17,148,616	0	17,148,616
給料手当	0	500,000	0	500,000	0	500,000
旅費交通費	0	120,780	0	120,780	0	120,780
通信運搬費	0	69,725	0	69,725	0	69,725
減価償却費	0	8,817,257	0	8,817,257	0	8,817,257
消耗什器備品費	0	995,368	0	995,368	0	995,368
消耗品費	0	437,651	0	437,651	0	437,651
修繕費	0	971,564	0	971,564	0	971,564
燃料費	0	70,191	0	70,191	0	70,191
光熱水料費	0	903,513	0	903,513	0	903,513
賃借料	0	704,550	0	704,550	0	704,550
保険料	0	501,244	0	501,244	0	501,244
支払負担金	0	60,000	0	60,000	0	60,000
支払助成金	50,000	179,800	0	229,800	0	229,800
委託費	0	2,611,573	0	2,611,573	0	2,611,573
支払手数料	0	155,400	0	155,400	0	155,400
(管理費)	0	0	0	0	699,991	699,991
事務委託費	0	0	0	0	360,000	360,000
会議費	0	0	0	0	26,000	26,000
通信運搬費	0	0	0	0	17,967	17,967
消耗品費	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	244,945	244,945
雑支出	0	0	0	0	51,079	51,079
経常費用計	50,000	17,098,616	0	17,148,616	699,991	17,848,607
当期経常増減額	△ 50,000	△ 9,464,321	0	△ 9,514,321	△ 699,991	△ 10,214,312

(単位:円)

科目	実施事業(継続事業)			実施事業 (継続事業) 合計	法人会計 (共通)	合計
	継続:1 教育活動	継続:2 館山寮運営	継続:3 水上寮保管			
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
保険金収入						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
災害損失	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他勘定振替額	50,000	△ 50,000	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 9,514,321	0	△ 9,514,321	△ 699,991	△ 10,214,312
法人税、住民税、事業税	0	0	0	0	70,000	70,000
指定正味財産から振替	0	38,060,583	0	38,060,583	0	38,060,583
一般正味財産増減額	0	28,546,262	0	28,546,262	△ 769,991	27,776,271
一般正味財産期首残高	0	162,112,621	4,244,819	166,357,440	△ 4,665,013	161,692,427
一般正味財産期末残高	0	190,658,883	4,244,819	194,903,702	△ 5,435,004	189,468,698
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	0	6,150,800	0	6,150,800	0	6,150,800
一般正味財産へ振替	0	△ 38,060,583	0	△ 38,060,583	0	△ 3,800,583
当期指定正味財産増減額	0	△ 31,909,783	0	△ 31,909,783	0	△ 31,909,783
指定正味財産期首残高	0	34,424,083	0	34,424,083	0	34,424,083
指定正味財産期末残高	0	2,514,300	0	2,514,300	0	2,514,300
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	0	193,173,183	4,244,819	197,418,002	△ 5,435,004	191,982,998

1－6 財務諸表の附属明細書

令和4年度 財務諸表の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
 - － 財務諸表に対する注記に記載しているので省略。
2. 引当金の明細
 - － 該当なし。

2. 事業報告

2.1 令和4年度事業報告

1. 事業の現況に関する事項

1.1 館山寮の再建

令和4年1月に着工した館山寮再建工事は、予定通り進行して6月末に完成し、7月6日に建物の引渡しを受けました。

総工費は、第一期工事（男子風呂、トイレ改修）、第二期工事（男子棟再建、女子棟改築、浄化槽更新）で合計128百万円でした。

館山寮再建募金は令和5年3月で終了し、総額は41百万円となりました。

保険金が87百万円でしたので、保有資金で総工費を賄えることができました。

1.2 臨海教室及び一般開放

臨海教室は3年ぶりに1泊2日で1クラス毎に8期間実施され、事故無く、心配された新型コロナウイルス感染もなく、無事に終了しました。

新築された宿泊棟のフローリングの居室は断熱効果もあって、概ね好評でした。給食は、初めて3食とも弁当の提供としましたが、弁当の提供が昼食の時間に間に合わなかったことがあり、今後の課題を残しました。

一般開放も3年ぶりに再開し、臨海教室終了後の2週間を開放しましたが、コロナ感染症の影響があったと推測されますが、例年の半分程度の利用者数で終わりました。

1.3 館山寮将来構想検討委員会の設置

現在の館山寮の運営に対する改善策の提案及び新たな利用方法の提案をする委員会を設置しました。委員は財団理事及び評議員、教職員、PTA役員、朝陽同窓会から選任された10名です。

1.4 従来からの案件

旧水上寮跡地の活用については、残念ながら進展はありませんでした。

2. 対処すべき今後の課題

2.1 館山寮の維持管理

館山寮将来構想検討委員会からの提言に大いに期待するとともに、寮が活用される方策を検討いたします。

厨房は、これで4年間全く稼働していない為、機器の老朽化も進み、調理人の確保と共に大きな懸案事項になっています。

2.2 臨海教室

新型コロナの影響が完全に払拭されていないが、令和元年まで実施されていた2泊3日の日程で2クラスごと4期12日間行うことが決定されています。

同窓生に対する寮の利用は、管理運営を朝陽水泳会に委託して臨海教室終了後2週間実施します。

以上

2-2 事業報告の附属明細書

令和4年度 事業報告の附属明細書

該当なし。

3. 監査報告書

3-1 監事による監査報告書

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

代表理事 橋本 健一 殿

令和5年 5 月 25 日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 中 越 一 統

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 宮山 尚之

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日迄の事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

1. 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 理事の職務執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

3-2 監事による公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

代表理事 橋本 健一 殿

令和5年 5 月 25 日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 中 越 一 統

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

監事 宮山 尚之

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日迄の事業年度における公益目的支出計画実施報告書を監査いたしました結果、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討致しました。

3. 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、公益目的支出計画の実施状況を正しく示しているものと認めます。